

消化器外科 I に、過去に通院又は入院された患者さんまたはご家族の方へ 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報と研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] プロスタノイドを介した抗腫瘍免疫に基づくアスピリンの大腸がん抑制メカニズムの解明

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者名・所属] 今泉 健・北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 臨床研究開発センター

[研究の目的]

大腸がんの患者さんの診療情報と手術時に採取した血液(血漿)および摘出した組織検体を用いてアスピリンという薬剤のがん再発抑制効果について調べます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

①2009 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に北海道大学病院消化器外科 I(旧 第一外科)にて大腸癌ステージ I - III に対して切除手術を受けられた方（手術時の年齢が 20 歳以上の方）。

このうち、以前以下の研究に参加され、研究目的での検体の保管に同意された方については、診療情報だけではなくこれらの検体もこの研究で利用させていただきます。

・2009 年～2010 年

「手術組織提供および血液、非癌部組織提供について(TissueBank 参加について)」

・2010～2014 年

「手術組織提供および血液提供について (Tissue Bank 参加について)」

・2014～2023 年

「ヒト由来組織、細胞リソースの集積を目的とした臨床情報管理システム (Tissue Bank) の構築」(医 14-005)

○利用する検体・情報

検体：血液(凍結血漿)、手術時に切除した余剰組織検体

情報：*2029 年 10 月 31 日までの診療情報を利用します。

2026 年 6 月 16 日（第 1.1 版）

年齢、性別、治療情報、手術情報、検査結果（血液検査・画像検査・病理検査）、
再発の情報

○送付方法

上記の腫瘍組織検体は、AI（人工知能）を用いた病理画像解析のために北海道大学病院先端診断技術開発センターにて画像化されたのち、外部測定委託機関である株式会社 biomy へクラウド上で受け渡されます。また、RNA シークエンス（がん細胞の中にある「RNA」という物質を網羅的に調べる検査）のために外部測定委託機関であるタカラバイオ株式会社へ冷凍状態で送られます。その後、測定データは解析のために外部解析委託機関である DNA チップ株式会社へ電磁的方法で送られます。この解析結果は北海道大学病院先端診断技術開発センター経由で北海道大学消化器外科 I に返送されます。いずれも個人を特定できない状態で授受が行われます。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2026年8月頃)～2029年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 I 担当医師 浜田 卓巳

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515